

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
178

2015年9月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0073 世田谷区砧8丁目31番3号 メゾン成城202号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一五年八月十七日発行(S S K P通巻六一〇七号)



鴨川シーワールド：幻想的な世界にワクワク(泉の家)

●本年度の聖句

わたしは神が宣言されるのを聞きます。
主は平和を宣言されます
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に
彼らが愚かなふるまいに戻らないように。

(詩編85編9節)



古いアルバム

理事長 佐分利 正彦

わたしの手許に、古いアルバムがあります。私の誕生から満三歳頃までの写真がそこには集められています。私の父が撮ってくれたもので、二眼レフという今日では見かけることもない写真機でとってくれました。そして、写真のいくつかは母の字でコメントがついています。

私が生まれたのは1941年(昭和16年)の4月です。すでに日中戦争は始まっており、この年の12月には太平洋戦争が始まりました。当時、様々な物資が入手しにくくなってはいましたが、父はそのことを見越してフィルムを買いだめしていたと聞きました。私が生まれてから3年ほどは、撮影したフィルムを現像して、写真を遺すことも何とかなってきたのだらうと思われれます。アルバムに集められた写真の様子や出来事は、私自身の記憶には残ってないものばかりです。

そうした写真の中に、母が「海軍のおじさん」と書き記した男性と一緒に写っているものが数葉あります。三歳くらいの私が鉄棒にぶら下がっているのを、「おじさん」は脇で見守っています。この男性は母の年下のいとこで、大学を卒業して海運会社に勤務していました。が、召集されて海軍に入りました。「海軍のおじさん」と母がコメントしたのはそのような事情によります。偶々の休暇があつて、「おじさん」が我が家に顔を出してくれたことがメモ書きからわかります。

戦後間もない時期に、我が家で小さな葬式が執り行われました。「おじさん」は戦艦大和と共に出撃した艦船の一つに乗り組み、そのまま不帰の人となったのです。送られてきた骨壺の中には石ころが入っていたそうです。

後年、私が母に終戦の日の詔勅の感想を聞いたときに、母は、私や弟が戦争に行かなくてすむと思つて、ホッとしたと言いました。若くして戦死したいとこの存在があつたからかも知れないと想像します。

一九七七年八月二十八日第三種郵便物認可(毎月二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一五年八月十七日発行(S S K P 通巻六一〇七号)

事業活動収支計算書

日の出舎 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 11,098,877
障害福祉サービス事業収益 296,534,884
自立支援給付費収益 221,748,861
利用者負担金収益 111,600
補助給付費収益 9,947,256
特定費用収益 23,173,167
その他の事業収益 41,554,000
経常経費寄付金収入 553,000
サービス活動収益計(1) 308,186,761
費用
人件費 174,658,721
事業費 41,641,302
事務費 47,512,096
就労支援事業費用 12,222,133
減価償却費 36,794,513
国庫補助金等特別積立金取崩額 △21,848,365
サービス活動費用計(2) 290,980,400
サービス活動増減差額(3=1-2) 17,206,361
サービス活動外増減の部
収益
受取利息配当金収益 89,446
その他のサービス活動外収益 810,768
サービス活動外収益計(4) 900,214
費用
支払利息 0
サービス活動外費用計(5) 0
サービス活動外増減差額(6=4-5) 900,214
経常増減差額(7=3+6) 18,106,575
特別増減の部
収益
施設整備等補助金収益 25,812,000
固定資産売却益 0
特別収益計(8) 25,812,000
費用
資産評価損 0
固定資産売却損・処分損 1
国庫補助金等特別積立金積立額 25,812,000
特別費用計(9) 25,812,001
特別増減差額(10=8-9) △1
当期活動収支差額(11=7+10) 18,106,574
繰越活動増減差額の部
前期繰越活動収支差額(12) 375,052,630
当期末繰越活動収支差額(13=11+12) 393,159,204
次期繰越活動増減差額 393,159,204

グループホーム (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 0
障害福祉サービス事業収益 16,671,265
重度身体障害者 GH 事業収益 0
経常経費寄付金収入 200,000
サービス活動収益計(1) 16,671,265
費用
人件費 5,571,587
事業費 24,762
事務費 11,090,694
減価償却費 306,323
サービス活動費用計(2) 16,993,366
サービス活動増減差額(3=1-2) △16,793,366
サービス活動外増減の部
収益
借入金利息補助金収益 0
受取利息配当金収益 12,280
その他のサービス活動外収益 559,245
サービス活動外収益計(4) 571,525
費用
支払利息 0
サービス活動外費用計(5) 0
サービス活動外増減差額(6=4-5) 571,525
経常増減差額(7=3+6) △16,221,841
特別増減の部
収益
施設整備等寄付金収益 1,900,000
拠点区分間繰入金収益 15,200,000
特別収益計(8) 17,100,000
費用
資産評価損 0
固定資産売却損・処分損 0
国庫補助金等特別積立金積立額 17,100,000
拠点区分間繰入金費用 0
特別費用計(9) 0
特別増減差額(10=8-9) 0
当期活動収支差額(11=7+10) 42,000
繰越活動増減差額の部
前期繰越活動収支差額(12) 250,000
当期末繰越活動収支差額(13=11+12) 292,000
次期繰越活動増減差額 292,000

本部 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 0
障害福祉サービス事業収益 0
重度身体障害者 GH 事業収益 0
経常経費寄付金収入 200,000
サービス活動収益計(1) 200,000
費用
人件費 5,571,587
事業費 24,762
事務費 11,090,694
減価償却費 306,323
サービス活動費用計(2) 16,993,366
サービス活動増減差額(3=1-2) △16,793,366
サービス活動外増減の部
収益
借入金利息補助金収益 0
受取利息配当金収益 12,280
その他のサービス活動外収益 559,245
サービス活動外収益計(4) 571,525
費用
支払利息 0
サービス活動外費用計(5) 0
サービス活動外増減差額(6=4-5) 571,525
経常増減差額(7=3+6) △16,221,841
特別増減の部
収益
施設整備等寄付金収益 1,900,000
拠点区分間繰入金収益 15,200,000
特別収益計(8) 17,100,000
費用
資産評価損 0
固定資産売却損・処分損 0
国庫補助金等特別積立金積立額 17,100,000
拠点区分間繰入金費用 0
特別費用計(9) 0
特別増減差額(10=8-9) 0
当期活動収支差額(11=7+10) 42,000
繰越活動増減差額の部
前期繰越活動収支差額(12) 250,000
当期末繰越活動収支差額(13=11+12) 292,000
次期繰越活動増減差額 292,000

岡本福祉作業ホーム (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 4,798,734
障害福祉サービス事業収益 170,042,205
補助金事業収益 1,477,860
受託事業収益 168,242,977
その他の事業収益 321,368
経常経費寄付金収入 10,000
その他の収益 30,840
サービス活動収益計(1) 174,881,779
費用
人件費 103,639,475
事業費 21,962,238
事務費 27,131,630
就労支援事業費用 5,014,864
減価償却費 287,864
サービス活動費用計(2) 158,036,071
サービス活動増減差額(3=1-2) 16,845,708
サービス活動外増減の部
収益
受取利息配当金収益 0
その他のサービス活動外収益 237,470
雑収益 237,470
サービス活動外収益計(4) 237,470
費用
その他のサービス活動外費用 5,000
雑損失 5,000
サービス活動外費用計(5) 5,000
サービス活動外増減差額(6=4-5) 232,470
経常増減差額(7=3+6) 17,078,178
特別増減の部
収益
施設整備等補助金収益 0
特別収益計(8) 0
費用
資産評価損 0
固定資産売却損・処分損 0
拠点区分間繰入金費用 15,200,000
その他の特別損失 220,000
特別費用計(9) 15,200,000
特別増減差額(10=8-9) △15,420,000
当期活動収支差額(11=7+10) 1,658,178
繰越活動増減差額の部
前期繰越活動収支差額(12) 33,200,089
当期末繰越活動収支差額(13=11+12) 34,858,267
次期繰越活動増減差額 34,858,267

泉の家 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 5,166,574
障害福祉サービス事業収益 153,885,851
自立支援給付費収益 87,750,038
利用者負担金収益 407,357
特定費用収益 2,486,582
その他の事業収益 63,241,874
経常経費寄付金収入 159,493
サービス活動収益計(1) 159,211,918
費用
人件費 86,981,971
事業費 13,065,163
事務費 47,036,217
就労支援事業費用 5,166,574
減価償却費 16,487,186
国庫補助金等特別積立金取崩額 △13,057,764
サービス活動費用計(2) 155,679,347
サービス活動増減差額(3=1-2) 3,532,571
サービス活動外増減の部
収益
借入金利息補助金収益 105,400
受取利息配当金収益 20,984
その他のサービス活動外収益 2,549,125
サービス活動外収益計(4) 3,624,109
費用
支払利息 1,054,000
サービス活動外費用計(5) 1,054,000
サービス活動外増減差額(6=4-5) 2,570,109
経常増減差額(7=3+6) 6,102,680
特別増減の部
収益
施設整備等補助金収益 744,000
特別収益計(8) 744,000
費用
資産評価損 0
固定資産売却損・処分損 0
国庫補助金等特別積立金積立額 744,000
拠点区分間繰入金費用 0
特別費用計(9) 744,000
特別増減差額(10=8-9) 0
当期活動収支差額(11=7+10) 6,102,680
繰越活動増減差額の部
前期繰越活動収支差額(12) 47,418,323
当期末繰越活動収支差額(13=11+12) 53,521,003
次期繰越活動増減差額 53,521,003

泉会 活動予定
行事
9/5 (土) 施設公開～Open the door～(泉の家)
9/19 (土) 施設公開～まるごとおかもと～(岡本ホーム)
10/8 (木) 一泊旅行(就労日の出舎)
11/6 (金)、13 (金) 日帰り旅行(日の出舎)
11/13 (金) チェンパロコンサート(玉堤分場)
11/27 (金) 一泊旅行(岡本ホーム)
12/12 (土) クリスマス会(日の出舎)
12/19 (土) 年総会(岡本ホーム)
販売会
9/5 (土) 玉川福祉フェスティバル(玉堤分場)
9/19 (土) こひつじまつり(泉の家)
10/3 (土) 玉福まつり(岡本ホーム)
10/17 (土)、18 (日) 尾山台フェスティバル(玉堤分場)
10/31 (土) 砧南小学校 みなみまつり(泉の家・岡本ホーム)
11/4 (水) いきいきせたがや文化祭(泉の家)
11/5 (木) いきいきせたがや文化祭(岡本ホーム)
11/8 (日) ハーフマラソン(泉の家)
12/6 (日) 区民ふれあいフェスタ(岡本ホーム)

法人会計貸借対照表の要旨 (単位:円)
科目 金額
資産の部
流動資産 358,826,566
固定資産 1,172,548,171
基本財産 657,389,108
他の固定資産 515,159,063
資産の部合計 1,531,374,737
負債の部
流動負債 89,535,866
固定負債 83,413,998
負債の部合計 172,949,864
純資産の部
基本金 167,037,230
国庫補助金等特別積立金 537,874,783
その他の積立金 186,696,148
次期繰越活動増減差額 466,816,712
純資産の部合計 1,358,424,873
負債及び純資産の部合計 1,531,374,737

法人会計事業活動計算書の要旨 (単位:円)
科目 金額
サービス活動増減
サービス活動収益 659,004,617
サービス活動費用 638,171,687
サービス活動増減差額 20,832,930
サービス活動外増減
サービス活動外収益 5,333,662
サービス活動外費用 1,059,000
サービス活動外増減差額 4,274,662
経常増減差額 25,107,592
特別増減
特別収益 28,456,000
特別費用 26,776,001
特別増減差額 1,679,999
当期活動増減差額 26,787,591
繰越活動増減差額
前期繰越活動増減差額 489,929,121
当期末繰越活動増減差額 516,716,712
基本金取崩額 0
その他の積立金取崩額 2,000,000
その他の積立金積立額 51,900,000
次期繰越活動増減差額 466,816,712

法人会計資金収支計算書の要旨 (単位:円)
科目 金額
事業活動による収支
事業活動収入 664,338,279
事業活動支出 615,743,227
事業活動資金収支差額 48,595,052
施設整備等による収支
施設整備等収入 28,456,000
施設整備等支出 135,961,655
施設整備等資金収支差額 △107,505,655
その他の活動による収支
その他の活動収入 2,811,364
その他の活動支出 55,712,600
その他の活動資金収支差額 △52,901,236
予備費支出 0
当期資金収支差額合計 △111,811,839
前期末支払資金残高 405,707,892
当期末支払資金残高 293,896,053

2014年 決算報告

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一五年八月十七日発行(S S K P 通巻六一〇七号)

事業報告

地域社会における共生の実現に向けて障がい者の日常生活を総合的に支援するため障害者総合支援法が施行されて2年が経過しました。さらに障害福祉サービスの質的向上と人材の確保を目指して制度の改善が進んでいます。2014年度泉会はこうした環境の中、障がい者の自立に向けて事業を運営しました。その主な内容についてお知らせします。
法人本部
1 2014年4月1日泉会本部事務局を世田谷区砧に設置しました。
2 泉会経営理念、基本方針の浸透に向け新人研修を5月に、全職員を対象に11月に法人理念研修を開催しました。
3 法人の事業展開に応じた今後5年間の要員計画を作成しました。
1 利用者個々の障がい特性に配慮し、ゆとりある時間設定の中さまざまな活動を行いました。
2 消防計画及び防災計画を作成しました。年5回防災訓練・通報訓練を行っています。10月の訓練では成城消防署から職員・利用者の防災意識を評価され「優秀賞」を受賞しました。

日の出舎・就労日の出舎・相談日の出舎・グループホームいずみ
1 2014年度事業計画の重点項目であった「グループホームのぞみ」の建設が2015年1月無事竣工しました。
2 施設入所・生活介護面では支援の在り方について全職員が共通した意識を持つためサービス向上検討会を設け様々なテーマに沿って検討を進めました。
3 計画相談支援事業を本格的に展開しました。計画作成に当たってはニーズに応じた計画づくりを行いました。さらに計画作成に加え、課題解決に向けて関係機関との連絡調整や相談などを行いました。
1 岡本福祉作業ホーム・玉堤分場
岡本ホームは昨年度に引き続きプログラムの見直しや環境づくりを行い、個別支援計画と連動させ計画的に進めました。
玉堤分場の就労継続B型支援事業では年間売上高が3,502,389円となり目標達成率は95.4%でした。

泉の家
定員 現員
利用人数 生活介護 20名 21名
就労移行支援 6名 0名
就労継続B型 25名 22名
平均工賃 就労移行支援 0円
就労継続B型 11,390円
日の出舎
定員 現員
利用人数 施設入所 45名 46名
生活介護 45名 46名
就労継続B型 20名 23名
平均工賃 就労継続B型 29,126円
いずみ
定員 現員
利用人数 4名 4名

岡本ホーム
定員 現員
利用人数 生活介護 24名 28名
就労移行支援 6名 1名
就労継続B型 10名 9名
平均工賃 就労移行支援 8,769円
就労継続B型 9,061円
玉堤分場
定員 現員
利用人数 就労移行支援 6名 4名
就労継続B型 13名 9名
平均工賃 就労移行支援 14,201円
就労継続B型 15,026円

2015年度 新任職員研修

6月25日（木）と29日（月）の2日間に分けて、2015年度新任職員研修を行いました。この研修は全事業所の課長が出席する「運営会議」で検討し、理事長・常務理事・事務局長・施設長で構成する「本部会議」に企画案を提出し、決定・実施がされました。

研修の目的は、『経営理念の浸透



理事長より経営理念や歴史を学ぶ

と実施。求められる職員像の具体的なイメージをもつ」とし、



ワーキングの発表を行う受講職員

- ・組織の一員であることの責任と自覚、社会福祉従事者としての基本的な姿勢
- ・職場内の基本的動作、仕事としての基礎知識
- ・研修を通して法人・職場の理解を深め、連帯感を持つことを学ぶよう、プログラムを制作しました。

午前中は世田谷エリアにて①就業規則・諸規程・諸手続きの説明（鈴木事務局長）②経営理念・基

野市に移動。午後から⑦グループホームのぞみ・いずみ見学（小林課長補佐・細谷世話人）、日の出舎へ移動し、⑧日の出舎見学（高木施設



10年目を迎えるグループホームいずみ



日の出舎の作業活動を見学

長）⑨報・連・相やチームワークに関するワーク（高橋課長）⑩規律・マナーの基礎知識として虐待防止や権利の講義（森課長）を一日で行いました。

日常の業務から離れにくい状況から、限られた時間で詰め込んだ内容になってしまいました。今回は、この研修のために沢山の管理職の方々や先輩を始め、法人全体で協力し合ったのが特徴です。もうひとつは、平日に開催したことで、利用者の方と職員の関わりを見学でき、事業所の雰囲気を感じられたことです。



本方針（佐分利理事長）③沿革・組織・部門の業務内容（池田常務理事）④経営理念・組織に関する確認テスト（河村課長）⑤泉の家施設



福田課長より泉の家見学案内を受ける



岡本福祉作業ホームの就労活動風景



理事長から『天職について』と『コミュニケーションについて』のお話をいただきました。

いかにしてわが天職を知らんや何によらず手をつけたことは熱心にするがよい（コヘルトの言葉9章10節）

入職したばかりで難しい問題に直面することもきつとあることでしよう。この日に学んだことを少し思い出して、前進していただけたらと思います。全職員で応援しています。

（川島 直子）

見学（福田課長・上原課長）⑥岡本福祉作業ホーム見学（越川課長）⑥玉堤分場見学および利用者の方々との昼食（越川課長）を行い、あきる



越川課長が案内し、玉堤分場を見学



グループホームのぞみの屋上で小林課長補佐より話を聞く



川島・池田常務・寺澤・奥田・堀江・小林・上原



廣瀬・落合・半澤・柳田・堀江・鈴木事務局長

泉の家だより

販売会に参加して

梅雨空がまだ明けきらぬ7月4日(土)に、砧南中学校バザーと、岡本民家園の七夕まつりの販売会に参加しました。
砧南中学校バザーでは、組紐によるミサンガ作り、フェルトのしおり作りの体験教室を開催しました。体験教室は、自主生産品だけでなく、販売会を魅力あるものにできないか、また、できるだけ多くの方に活動を知っていただくため、4年前から始めた企画です。

今回も熱気の満ちた会場で、夢中になって作っていただき、非常に好評でした。

体験教室については、京西小学校、砧南小学校でも、毎年行っています。

今後、地域の方々との交流をしながら、活動を知っていただくために、機会があれば努めて参加する予定です。
(金子 誠)



一緒に作ってみませんか?

岡本ホームだより

「サイコロトーク」

今年度から生活介護の朝のミーティング時に始まった「サイコロトーク」が、利用者の皆様に大変好評をいただいています。

振って出たサイコロの目に書いてあるお題に沿って、利用者が話を進めていくやり方で、サイコロには「おすすめグルメ」「昨日の夕ご飯」「最近気になっている事」など様々なお題が書かれています。

玉堤分場だより

「クラブ活動から書道展へ」

分場では月に1回、押し花と書道のクラブ活動を行っています。

専門の先生のご指導のもと、地道に取り組んでいる活動です。今回



「海の音」練習しています



書道展にて大井先生を囲んで

は、書道の作品を尾山台のバイ焼き茶房で、7月の1カ月間展示させていただきますました。

「花」「平和」「遊」「竹」「舞」「岩」「夢」「龍翔」「忍」「馬」等・力強く、時に繊細なタッチで書かれた作品が壁いっぱい展示されました。どの作品も、利用者のいま在る瞬間の、活き活きした様子が感じられ、感動を覚えました。
(半澤 恵理)

グループホーム いずみだより

「私の健康」 鈴木 由夏さん

私がGHいずみに来る前はいろいろなことがありました。よく発作を起こしたり、喘息を起こしたり、引きこもったり、喧嘩をしたり、病院にしょっちゅう行って、仕事もよく休んだりしました。

9年前GHいずみに来た頃も発作を起こしたり、腰を痛めたり、熱を出したり、自分の薬のことも良く分らなかつたけど、いろいろな教えてもらいながら覚えました。



5kg やせました

それからお菓子や甘い缶コーヒーで太ってしまいました。お姉さんの5月の結婚式に着て行く服も入らなくなつて大変だと思いました。ご飯を食べないで痩せようとしたら「きちんと食事をして、良く運動をして体重を減らす事。」と管理人から言われ、朝の階段拭き掃除と通所送迎車には1キロぐらい先まで歩いて途中で乗るようにしました。よく眠れるので今は睡眠薬は飲んでいません。この前、担当の先生に「随分元気になって、前から思うとすごいね。」と褒められてうれしかったです。
これからも健康に気をつけていきたいです。GHいずみのみんなが応援してくれるのが楽しみです。



何が出るかな♪何が出るかな♫

日の出舎だより

陶芸の活動

日の出舎では入所者の日中活動として平日の午前中に陶芸、絵画アート、木工、学習、読書などを行っています。今回は陶芸班の活動を紹介します。

陶芸で作るものは、四季の季節に合ったものを中心にして利用者が自由に決めて創作しています。動物、人形、コップ、皿等、最近では日本の世界遺産オブジェなども作成しました。中には洗練されたプロ顔負けの作品を作る方もいて見る人を楽しませてくれます。

昨年より陶芸窯を譲り受け、施設内で素焼き、本焼きが出来るようになりました。

完成した作品は、日の出舎独自の作品展や日の出町の文化祭、埼玉県のごとも動物園などの展示会に出展し地域との交流を深めています。創作活動を通して利用者の自己実現やストレス解消、社会参加に



製作された作品たち

ればいいと思っています。

(小山 潔)



縁あって泉会

『日の出舎で見つけた大切なこと』

講師 勅使河原 麻美

私が日の出舎でエアロビックスと称して運動指導に携わること約13年間、2002年9月が始まりの時でした。

自由が利かない体で運動を楽しむための指導について、健常者の私が考えた時、初めはリハビリ的な要素がたくさんでした。言葉では一言「障がい」ですが、十人いれば十通りで、ひとりひとり抱えている事が違いました。機能改善的ながんばる運動が好きの方もいらっしゃるかもしれませんが、楽しいかと言ったらそうではないような気がしていました。研修を受けても、障がいのある人ほど運動をしなればいけないと動きに焦点を当てたものが多く、知識は増えました

が運動の持つ一番大切な要素、快感を得るといことは置き去りでした。そこで私はここ一番の勇気を出して、参加者皆さんに質問を始めました。動きに対する気持ちや、何故運動をするのか等、体の状態まで教えて下さった方もいました。私には実感できないけれど、いろいろな事象がわかってきました。運動の持つ意義や目標への見方が変わり、たくさん動くことができなくても何かしら効果がある運動はないかと考えるようになり、呼吸こそ生きている限り続く運動で、少ししか動けなくても呼吸を有効にすれば何とかかなりうだと感じてきました。そうだと、もっとしっかり息をしてもらおう、できるだけ呼吸しやすい体勢をとることを自ら見つけてもらえようのようにしてみよう。その後どんな人にも呼吸と姿勢が大事ではないかと考えるようになり、研修会でいつもとは違うメニューのプログラムを受け始めました。そして

不思議ですが、同じ事を考えて研究している先生方と巡り合いました。痛みや麻痺で緊張している筋肉の力を弛めるのは難しいことですが、ゆったりとした音楽に合わせて静かに呼吸し、呼吸に合わせて動き、動かないところもそつと揺する程度でも動かしてあげると、少しずつ体液が巡り始め軽くなり気持ち良くなる。快感は嬉しく自然と笑顔ができ脳からドーパミンが出る、運動の賜物です。

日の出舎で気づいた事が私の指導の原点になり、呼吸と姿勢については、これからもずっと研修し指導も続けます。最近日の出舎では、すごく元気が出てきたので、AKB48や可愛いボールのパスキャッチも楽しんでいきます。

13年分の試行錯誤と挑戦、失敗と反省、成功とうれし涙があります。指導者としてまだまだ発展途上の私です、山盛りの感謝の言葉で結びたいと思います。

「ありがとう。」

社会福祉法人 泉会

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ㊚03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ㊚03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ㊚042(597)2205 info@hinodesha.org	相談支援センター おかもと 玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ㊚03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp
グループホーム いずみ グループホーム のぞみ	〒197-0825 あきる野市雨間322-12 ☎㊚042(550)9083 〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ㊚042(533)3609		

編集後記

後半のそれぞれの歩みに期待し、泉会の『いま』を次号でお伝えします。
信頼、希望、愛の香りを放つ号となりますように。 玉堤分場担当